

参考様式第30及び参考様式第33の別添3

市街地復興効果促進事業の概要を示す書類

事業番号	★ D 15 - 1 - 14
要綱上の事業名称	復興地域づくり加速化事業
細要素事業名	観光交流拠点整備事業（仮称）
全体事業費	203,254千円（147,396千円）
<p>【事業概要、基幹事業との関連性】 鶴住居駅前の利便性の高い空間に、祈りのパークや津波伝承施設と併せて地域の情報発信（自然遺産等）・交流空間を一体整備することで、復興まちづくり計画の目標「人やもの、情報の交流拠点づくり」を図る。 今回の交流拠点整備事業は、情報発信拠点（案内所等）、コミュニティレストラン（多様な人々の交流拠点）の整備、被災した海岸部の公衆トイレの集約整備などを目的としている。</p> <p>1. 施設概要</p> <p>(1) 施設名称 鶴住居地区観光交流拠点施設（仮称） (2) 整備箇所 釜石市鶴住居町第16地割地内 (3) 構造 木造平屋建 (4) 床面積 約490㎡</p> <p>2. 業務内容</p> <p>(1) 設計・監理 18,358千円 ①基本設計 4,320千円 ②実施設計 14,038千円 ※使途内訳申請額19,008千円（差金650千円） (2) 施設整備 184,896千円 ⇒184,896千円-650千円=184,246千円（今回要望額） ①交流スペース（観光交通情報案内、コミュニティレストラン）：約113㎡ ※ ②事務スペース（倉庫、事務所等）：約61㎡ ③トイレ：約41㎡ ④産直（水産物）・物販スペース：約139㎡ ⑤通路等（搬入路、風除室含む）：約137㎡ ※別途、当該施設を拠点とした地域内外のイベント会場として活用するため、施設北側スペース約1,000㎡を交流スペースとして整備する。</p> <p>3. 事業実施期間</p> <ul style="list-style-type: none"> 基本設計：平成29年5月8日～29年7月31日 実施設計：平成29年10月10日～30年3月30日 施設整備：平成30年6月22日～31年1月31日 	

※ この様式は、原則として、参考様式第30及び参考様式第33の別添2に記載した細要素事業ごとに作成してください。

※ 「全体事業費」は、細要素事業（当該細要素事業と一体不可分な事業を含む。）について、全体事業期間を通じての全ての事業費を記載して下さい。

※ 細要素事業の概要を示す図面を添付して下さい。